

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 4 月 12 日 (2007.4.12)

【公開番号】特開 2006-247279 (P2006-247279A)
 【公開日】平成 18 年 9 月 21 日 (2006.9.21)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-037
 【出願番号】特願 2005-71450 (P2005-71450)
 【国際特許分類】

A 4 4 B 19/10 (2006.01)

【F I】

A 4 4 B 19/10

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 2 月 20 日 (2007.2.20)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 4 4
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 4 4】

図 1 1 に示す実施例 5 の線条スライドファスナーは、コイル状ファスナーエレメント 2 を前例と同様に設定条件を備え、上脚部 1 2 に凹部 1 4 を形成し、反転部 1 1 側を小形に形成するとともに、固定系 5 に経編系 8 ここでは鎖編組織の編系によってコイル状ファスナーエレメント 2 を編み込む、ファスナーテープ 4 は経編組織から編製し、たとえば全ウエールに 1 - 0 / 0 - 1 の鎖編系 2 6 と 0 - 0 / 3 - 3 の緯挿入系 2 7 を配して交絡させ、また W 1 ~ W 3 には 2 - 2 / 0 - 0 の緯挿入系 2 8 を配して緯挿入系 2 7 と交錯させ、コイル状ファスナーエレメント 2 を締付け固定する。上脚部 1 2 の凹部 1 4 部分に W 2 , W 3 の鎖編組織の経編系 8 を用いて、コイル状ファスナーエレメント 2 の上脚部 1 2 の凹部 1 4 を捕捉して締付け、経編系 8 は上脚部 1 2 の凹部 1 4 部分から移動して脱却することがない。なお経編系は前記の編系に限定するものではなく、たとえば全ウエールに 1 - 2 / 1 - 0 のトリコット編系、また 0 - 2 / 2 - 0 の二目編系を配してファスナーテープ 4 を編製することは自由である。